

# 「ゆめファーム全農SAGA」

## 土耕栽培とロックウール養液栽培の比較検証



きゅうりの  
ロックウール  
養液栽培

全農が令和元年に佐賀県に建設した「ゆめファーム全農SAGA」は、土耕栽培とロックウール養液栽培の比較検証を行っている、国内最大規模（約1ha）のきゅうり実証ハウスです。このファームにおける直近の目標は、国内最高水準である土耕栽培45t/10a、ロックウール養液栽培50t/10aの反収を達成することです。今号では、同ファームにおける国内最大規模で国内最高水準の反収を達成するために取り組んでいる試みを紹介します。

### ●4つの日本初に挑戦！●

#### ①施設きゅうり国内最高収量に挑戦！

同ファームの1作目（令和元年12月20日～令和2年7月10日）の収量は、土耕栽培で約30.6t/10a、ロックウール養液栽培で約36t/10a（6月までであれば約33.5t）となりました。農林水産統計の冬春きゅうり（主に収穫・出荷期間が前年12月～当年6月のもの）のデータと照らし合わせたところ、同ファームの収量は、冬春きゅうり全国平均収量（10.7t/10a）の約3倍であることがわかりました。同ファームでは、1月末に収穫をスタートしましたが、比較時期としては不利な条件にもかかわらず約3倍の収量が上げられており、年々作付けが減少（全国で前年より40ha減少：令和元年実績）しているきゅうりにおいて、将来に夢が持てる結果となっています。

#### ②きゅうり栽培における国内最大規模に挑戦！

1ha規模のきゅうりハウスが国内に存在しているか確認できてはいませんが、同ファームは国内最大規模のきゅうり栽培を実施しているものと考えています。

この1ha規模の栽培で最も苦勞するのが作業管理と労務管理です。現状では、同ファームの臨時・パートおよび運営管理する職員のほとんどが農業未経験者ですが、1人1人の作業の進捗状況を確認し、目標達成に向けて作業管理と労務管理をコントロールしています。

#### ③佐賀市と連携し、環境配慮型の栽培に挑戦！

同ファームは、全農、佐賀市、JAさがが相互に連携する3者の包括連携協定のもとに運営が行われています。その一環として、同ファームには、佐賀市の清掃工場で発生する余熱と排ガスから食品添加の基準もクリアした安全レベルの炭酸ガスが供給されています。このように、同ファームは、環境に配慮した資源循環型農業のモデル施設でもあります。

#### ④土耕栽培とロックウール養液栽培の比較検証に挑戦！

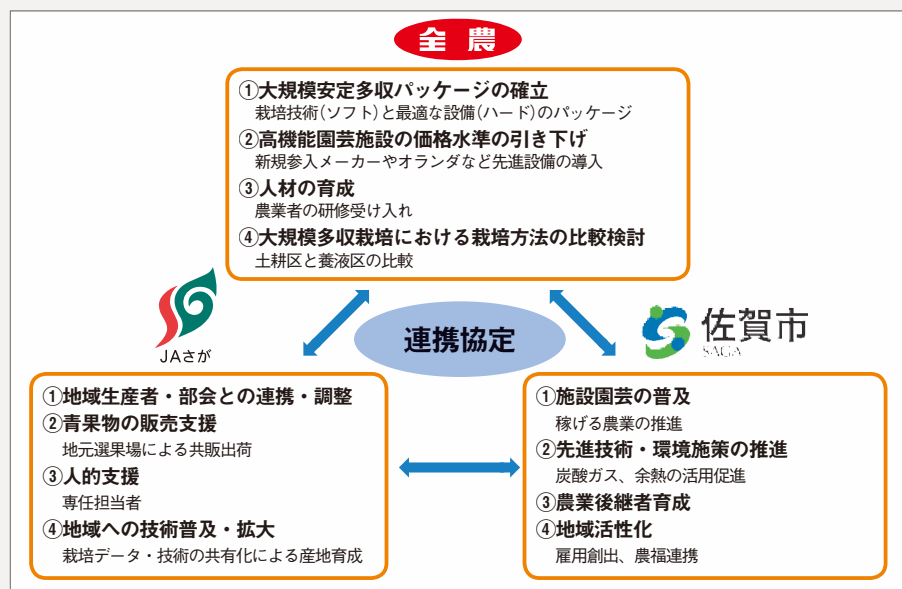
きゅうり大規模安定多収パッケージを確立するには、まず高い栽培技術を持つ佐賀県のきゅうり生産者から学ぶことが必須です。また、同ファームは、地域に根ざした取り組みにするために土耕栽培での実証を行っています。

スペックの高いハウスで栽培することそのものが、今まで産地で構築されてきた栽培技術・ノウハウにどのような変化・影響をあたえるかを実証し、確認することが必要です。

ロックウール養液栽培については、土耕栽培で学んだ技術を活かし、さらなる作業の単純化や高収量に向けた実証に取り組んでいきたいと考えています。

そして、土耕栽培とロックウール養液栽培をしっかりと比較検証し、担い手である生産者に実証の成果を提案して手取り最大化を支援していきます。

【全農 耕種総合対策部 高度施設園芸推進室】



全農、佐賀市、JAさがが相互に連携する3者の包括連携協定